

Title	『史学』第八八巻総目次
Sub Title	The consolidated content of volume 88
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2020
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.88, No.3/4 (2020. 5) ,p.187(457)- 189(459)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20200500-0187

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『史学』第八八卷総目次

論文

日比谷平左衛門の企業家精神

— 日本製布・鐘淵紡績・富士紡績の再建及び人材育成制度の検討 — 三科 仁伸 (一)

明治・大正期日本の食塩市場と塩専売制度をめぐる経済史研究の意義と課題 前田 廉孝 (二七)

一七世紀初頭のオスマン朝エジプト州総督と祈願式

— 『マバーヒジュ』とその続篇に基づく覚書 — 長谷部史彦 (一六五)

後期マムルーク朝有力官僚と聖地

— ザイン・アッリディーン・イブン・ムズヒルの巡礼とハラマインにおける慈善 —

太田(塚田)絵里奈 (一八七)

二〇一八年度ベイティン遺跡(パレスチナ自治区)における考古学的発掘調査

杉本智俊・菊池 実・渡部展也・稲野裕介・間舎裕生 (二二七)

平安初期における出羽国の経営と国内豪族統制 十川 陽一 (二七一)

学閥企業家集団に関する経済史研究の意義と課題

— 伊東要蔵とその周辺 — 三科 仁伸 (二九一)

一八世紀イスタンブルにおける皮鞣工イブラヒムの遺産とその相続 藤木 健二 (三二七)

元朝の漢語イスラム医学書『回回薬方』と中世イスラム医学書の関わりについて

―第三十四卷折傷門の腹部損傷の記述から―

尾崎貴久子 (三四三)

ポリネシア口承歌と収穫儀礼

―レンネル島の集落遺跡発掘による「すみか」の復元―

近森 正 (三七三)

第二神殿時代のユダヤ人埋葬に関する考古学的研究の課題

長尾 琢磨 (四〇九)

史料紹介

「足利頼淳宛豊臣秀吉朱印状」の紹介

渡邊 浩貴 (四三七)

―豊臣政権と関東足利氏の再興の視点から―

二〇一七年度三田史学会大会シンポジウム報告

ヨーロッパ宗教改革研究の今日的意義

―五百周年に寄せて―

野々瀬浩司 (七一)

ルター肖像画とルター改革の動向

森田 安一 (八一)

ルターを引き継いで

―一七・一八世紀プロテスタントたちの連帯運動―

西川 杉子 (一〇九)

教会を持続させた宗教改革

―政治思想的考察―

田上 雅徳 (一三三)

二〇一八年度三田史学会大会講演会報告

島の歴史学講演要旨 佐藤孝雄・田代和生・田村愛理・神崎忠昭・山口 徹・近森 正 (一四九)

彙報

(二五七) (二四三) (四四一)

第八八卷總目次

(四五七)

『史学』第八八卷總目次

一八九 (四五九)